

年間教授計画 2024年度（4月～2月）

科目	対象	担当	教科書	授業数	年間授業時間
作品研究 I	クラス: 1年 J組 学科: クリエイター科 コース: イラストレータ	石橋	「棒人間」からはじめるキャラの描き方	4 時間/週	120 時間

授業概要 ClipStudioを使ってイラスト制作を学んでいきます。1年時は基本の「正確な描写」を大切にしつつ、応用として「場」「雰囲気」の描写も行います。

最終到達目標 基本描写を体得しつつ、それらを「オリジナル作品」の制作につなげていきます。それに加えて、量(作品数)をこなせるようになります。

月	週	単元	内容および授業方法
前期 (4月～9月)	1	課題1「人物を正確に描く」 (～6週ほどで完成提出)	以下全て実習です。
	2		ポーズをつけたキャラクターを3～5面図(正面、側面、背面、あおり、ふかん)から描く
	3		描写方法は、進行の早いデジタルを推奨するが、アナログ(スケッチブックなどに描いたものから始める)でも構わない
	4		基本① ClipStudioの操作方法を知る
	5		基本② スキャナーの操作方法を知る
	6		基本③ 液タブで描けるようになる
	7	基本④ 美しい『線』が描けるようになる	
	8	基本⑤ 効率的な『塗り』ができるようになる	
	9	基本⑥ 『色の三属性』を知る	
	10	課題2「人物+背景を描く」 (～6週ほどで完成提出)	「ある空間で適当なキャラクターが何かをしているところ」を描く
	11		そこには「物語性」が発生しますが、どこで、だれが、なにをしている・・・これらの関係性を明確に表現してもらいます。
	12		基本⑦ 自然の風景、装飾的など『背景』のとらえ方は自由だが、人物と背景との明確な関係
	13	課題3「より空間を意識した構成」 (夏休み中に制作)	基本⑧ 彩色の意識を持って(ベースカラー、アソートカラー、アクセントカラー)制作する
	14		(描く＝空間を表現する)を前提にして、前後上下左右にあるものを(極端な空間度)意識した作品の制作を行う
	15		9月授業の開始～ 課題3のブラッシュアップ
		応用① 空間づくりの構成(背景＝近景＋中景＋遠景)を意識する	

後期 (10月～2月)	1	課題4「人物+背景を描く」2 「絵作りの応用」を学ぶ (～8週ほどで完成提出)	<講義>
	2		応用①の続き 空間づくりの構成(背景＝近景＋中景＋遠景)を再認識する
	3		応用② 簡単なパースペクティブの知識を知る
	4		応用③ 近くのもの、遠くのもの・・・彩色の仕方(暖色系、寒色系などの知識)
	5		応用④ 「視線誘導」を学ぶ
	6		視線誘導＝視線の先、指先が注す方向、木の枝がさす方向・・・などこれらを効果的に構成することで 画面内の大切な要素に視線を誘導させるテクニック。物語を表現する時の優先順位の付け方などに有効かつ必要な手段
	7		<実践>
	8	上記の講義内容を理解したうえで作品制作を行う。内容が高度なため、初めての経験として、失敗を恐れず制作して欲しい。	
	9	(内容)	
	10	適当なキャラがある空間(具体的な「場」)で何かをしているところを描く(仮)	
	11	・「場」は近景と中景と遠景で構成されている	
	12	・描くキャラクターは3人以上	
	13	・配色において暖色、寒色の使い分けを意識すること・・・など	
	14	課題5以降は未定	1年時において、課題1から課題4までは必ず実施したいが、進行が早い場合は課題5以降(早く、確実に、たくさんの作品を制作できるのが理想です。課題5以降ぜひ実現させたいところです)
	15		

成績評価方法	項目 ※1	授業内試験	小テスト	課題内容	出欠状況	授業態度	その他(提出と期限の厳守)
	割合	前期	0%	0%	60%	10%	10%
	後期	0%	0%	60%	10%	10%	20%
備考 ※2		「作品の完成度」と「提出期限の厳守」がとても大切です。					

※1 授業内試験: 期間内の総まとめの試験 / 小テスト: 単元ごとのテスト等 / 課題内容: 課題提出および課題の出来具合
その他: ()に具体的内容を記載。(例)外部実習評価

※2 備考については、資格取得に対する加点、学習に当たっての留意事項等、上記以外の項目に記載すべきものがある場合に記入。